

スリーハート

第1号 平成26年 4月 22日 (火) 発行

打って出にゃ 待っどるだけじゃ あかんでえ!

平成26年度、本校は大きな世代交代の波を受けました。校長から数えて給食の配膳パートさんまで、甚目寺西小学校にかかわっております教職員の合計は33名です。今回の異動で14名の新しい方々に赴任していただきました。つまり、約4割が新しい職員になったということです。平均年齢も平成25年度の45.5歳から本年度は41.5歳と4歳も若くなりました。生きのいい若い先生が多くなりました。でも、若いということは勢いがある反面、細やかさに欠けるという心配があります。昨年度以上に丁寧な指導、迅速な対応を心がけていかなければならないと思っています。



さて、見出しの言葉は本校職員の教育活動に取り組む心意気を表した言葉です。

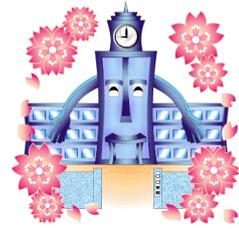
「打って出にゃ 待っどるだけじゃ あかんでえ」少し乱暴な言い回しですが、威勢がよく、やる気と積極性に溢れた言葉だと思います。この言葉は、三重県の伊賀市にあります崇広中学校の学区で開かれたヒューマンフェスタで使われた言葉です。このような打って出る気持ちで平成26年度の教育活動を進めて参ります。

昨年度より始めました交流活動、とりわけ、アメリカのマロニー小学校との国際交流におきましては、大変多くの方々のお力を借り、交流を軌道に乗せることができました。本当にありがとうございました。これからも、マロニー小学校との交流活動を継続してい久予定です。また、本年度、力を入れていきたいと考えておりますのが地域交流です。クリーンキャンペーンやスリーハート標語募集活動などにおきまして、今まで以上に広く地域を巻き込んだ取組を展開して参ります。保護者の皆様だけでなく、地域の方々のご協力をいただきながら地域に根ざした交流活動を創り上げていきたいと考えております。

最後に、私どもお預かりしたお子様の教育に職員一丸となって当たって参ります。お子様の自立や健やかな成長のためには、学校・保護者・地域の連携が何よりも大切です。目先の事だけにとらわれず、お子様の将来をしっかりと見据えながら、対話を大切に、共に悩み、共に喜び合えるパートナーとしてお子様の成長をいっしょに見守らせて頂きたいと思っております。どうか、地域の中に生きる学校として、これから始まります「打って出にゃ 待っどるだけじゃ あかんでえ」という気概に満ちた教育活動に、お力添えとお支えいただきますことを心よりお願い申し上げます。

甚目寺西小 入学

—新入生48名を迎え、新たな船出—



6年生に優しく手をひかれ
—新入生入場—



4月7日(月)

少し肌寒さを感じる朝でしたが、天気恵まれ、入学式が行われました。今年は、少し少なめの2クラス48名の新入生を迎え、『甚西丸』は、341名の子どもたちを乗せて新たな船出をすることができました。

4日(金)には、新入生を迎える準備をするため、掃除や会場設営、教室の飾り付けなど、新6年生が一生懸命がんばってくれました。入学式当日も、優しい表情で、新入生を気遣いながら、入場のエスコートをする姿に、最高学年としての頼もしさを感じました。



ひな壇に座って話を聞く1年生
—校長式辞—



1年生を見守る6年生



少し緊張した表情の1年生
—教室での学級活動—



1年1組 24名



1年2組 24名



きらりにしっこのちかい



- *わたしたちは、明るいあいさつ、元気な返事、正しい言葉づかいをします。
- *わたしたちは、きまりを守って生活します。
- *わたしたちは、友達にやさしくして、思いやりのある行動をします

